

北本市立中央図書館は、お子様が楽しめる本
を中心とした児童用の本を、これまで、これまでの経験と経験
や経験をもとにした絵本・絵本・絵本の絵本
などを購入してきました。絵本の絵本の絵本



2015.7.10 改訂

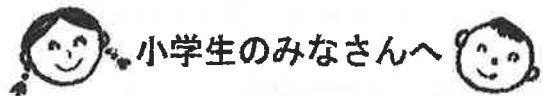
2019.6.1 追補

北本市立中央図書館
北本市立こども図書館
北本市子ども文庫連絡会
北本子ども本を楽しむ会

北本市立中央図書館
北本市立こども図書館
北本市子ども文庫連絡会
北本子ども本を楽しむ会

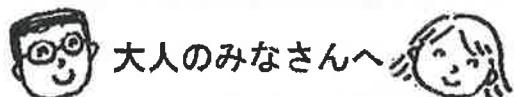


北本市立中央図書館
北本市立こども図書館
北本市子ども文庫連絡会
北本子どもの本を楽しむ会



このブックリストでは、長い間たくさんのお子様たちに
読みつがれ楽しまれてきた本を中心に、およそ100冊を
紹介しています。

みなさんが、心に残るすてきな本と出会えますように！



子どもの心は、この世界で楽しい経験を重ねていくことで
豊かに育っていきます。心がやわらかい子どものときにこそ
優れた本に出会ってほしいと願っています。

このブックリストがそのきっかけになれば幸いです。

【小学3年生くらいから】

***** 目 次 *****

小学3年生くらいからの本	3
詩の本	20
小学5年生くらいからの本	22

***** 利用の手引き *****

- ◇ 各章で、本は書名の50音順に並べてあります。
- ◇ 対象学年は、およその目安です。とらわれることなく、自分の読書経験に合わせて利用してください。
- ◇ ブックリスト“この本よん”では、3冊に分かれています。
 - I 小さい子から小学3年生くらいまで
 - II 小学3年生くらい～ & 小学5年生くらい～
 - III 中学生から大人

1 あたまをつかった小さなおばあさん

ニューウェル作 松岡享子訳

福音館書店



おばあさんはびんぼうでしたが、こ
まったときはいつでも頭をつかってき
りぬけます。

とてもユニークで思わずわらいだし
たくなるやり方で…。

2 ウルスリのすず

ヘンツ文 カリジェ絵 大塚勇三訳

岩波書店



ウルスリはだれより大きい
すずをもって、すず行列の一番
前を歩きたいと思っていま
した。でも、もらえたのは小さな
すず。大きなすずが山小屋にあ
ることを思い出して、一人で冬の山にでかけていきます。

春をむかえるスイスのおまつりの話。

【小学3年生くらいから】

3 エーミルと小さなイーダ

リンドグレーン作 さんぺいけいこ訳

岩波書店



スウェーデンの農場に住む少年エーミルと妹のイーダ。いたずらなエーミルは、ばつとして毎日のように作業小屋にとじこめられますが、楽しそうに木をけずって人形を作っています。うらやましいイーダは小屋に入れられたいのですが…。

4 エルマーのぼうけん <シリーズ>

ガネット作 わたなべしげお訳

福音館書店



エルマーはどうぶつ島でつかまってしまったりゅうの子を助けるため、ぼうけんの旅に！
リュックの中にはチューインガム、歯ブラシ、虫めがねなど…。さあ、エルマーはどうやってりゅうの子を助けるのでしょうか？

【小学3年生くらいから】

5 火曜日のごちそうはヒキガエル

エリクソン作 佐藤涼子訳

評論社



冬のある日、ヒキガエルのウォートンはおそろしいみみずくにつかまり、誕生日のごちそうにすると言われた。ウォートンは、はしごを作りにげ出そうとするが…。
誕生日の火曜日まであと2日！

6 かわせみのマルタン

フォシェ文 ロジャンコフスキ一絵 いしいももこ訳・編

童話館出版



人里はなれた川に、空よりも青くてつややかな小鳥かわせみがやってきました。ゆたかな自然の中での生きもののくらしが、いきいきとえがかれています。

シリーズに『りすのパナシ』『野うさぎのフルー』などもあります。

【小学3年生くらいから】

7 黒ネコジェニーのおはなし 1・2・3

アベリル作・絵 松岡享子・張替恵子共訳

福音館書店



はにかみやの黒ネコジェニー。かい
主のキャプテンにあんでもらった真っ
赤なマフラーをして、勇気を出してキ
ャット・クラブの会合に出かけます。

ジェニーとすてきな仲間たちのお
話。

8 クワガタクワジ物語

中島みち著

偕成社



小学2年生の太郎くんは、大好きな
コクワガタを一度に3匹もつかまえ
ます。みそだるに雑木林の土を入れク
ヌギの落ち葉を重ねたクワガタマンシ
ョンで、クワイチ、クワジ、クワゾウ
と名前をつけて飼いはじめます。

【小学3年生くらいから】

9 こぎつねルーファスのぼうけん <シリーズ>

アトリー作 石井桃子訳

岩波書店



みなしごのこぎつねルーファスは、
やさしいアナグマさんの家族のもとで
くらすことになりました。

アナグマの子どもたちと楽しく遊ん
だり、こっそり夜の森へ出かけて行つ
たり、元気でやんちゃなルーファスは
ぼうけんが大好き。

10 サンコン少年のあふりか物語

サンコン作

講談社



1950年代のギニア共和国。サンコン
には父さんと3人の母さん、20人の
兄妹がいて、みんなで家の財産である
羊やにわとりの世話をしています。

日本の子どもとは、まるでちがう
習慣や遊びもあるけれど、似た遊びも
あります。

【小学3年生くらいから】

11 白いぼうし～車のいろは空のいろ1～

あまんきみこ作

ポプラ社



タクシー運転手の松井さんが、小さな白いぼうしを見つけてつまみあげると、モンシロチョウがとびだしました。松井さんが車にもどるとかわいいい女の子がすわっていました。

松井さんとふしきなお客さんのおはなし8編。

12 小さい魔女

プロイスラー作 大塚勇三訳

学研教育出版



127才でもしんまいのまじょ小さい魔女は、そそかしくて失敗ばかり。でも「いい魔女」になれば大きい魔女といっしょにおまつりに行ける！そこで「いい魔女」になるために、こまっている人間を魔法で助けてやるが…。

【小学3年生くらいから】

13 小さなスプーンおばさん <シリーズ>

プリヨイセン作 大塚勇三訳

学研教育出版



とつぜん、ティースプーンくらいに小さくなってしまうおばさん。「なんてこった！」とつぶやきながら、思いもよらぬやり方で、どんなことも明るくたくましくかたづけてしまいます。

14 ちびドラゴンのおくりもの

コルシュノフ作 酒寄進一訳

国土社



ハンノーは“デブソーセージ”とからかわれ、学校ではひとりぼっち。ある日、ちびドラゴンと出会う。ドラゴンの国にはない文字や歌、ダンスに夢中になるドラゴン。教えているうちに、ハンノー自身も変わっていく。

【小学3年生くらいから】

15 長くつ下のピッピ

リンドグレーン作 大塚勇三訳

岩波書店



9才の女の子ピッピは、世界一強くてこわいものなし。おまわりさんとおにごっこをしたり、どろぼうをつかまえてダンスの相手をさせたり…。ピッピのくらしは、楽しくって、びっくりすることばかりです。

16 はじめてのおてつだい

マクネイル作 松野正子訳

岩波書店



木よう日はいつも大おばさんの家に行くメアリー。かぜでねている大おばさんのかわりに、ふしぎなかさといっしょに、はじめてのおつかいに出かけます。

【小学3年生くらいから】

17 パディーの黄金のつぼ

キング=スミス作 三村美智子訳

岩波書店



小人のパディーが見られるようになるには、4つの条件が必要です。8才の誕生日の朝、ブリジットにはパディーが見えました。174才のパディーは気むずかしくていじわるなところもありますが、ふたりは友だちに…。

アイルランドのいいつたえをもとにしたふしぎな物語。

18 火のくつと風のサンダル

ウェルフェル作 関楠生訳

童話館出版



ちびでデブとからかわれてなやむチムに、くつ職人の父さんは赤いくつをプレゼントする。夏休みにチムは「火のくつ」、父さんは「風のサンダル」と名乗り、旅に出る。旅先での体験や父さんのおはなしが、チムを明るく元気に変えていく。

【小学3年生くらいから】

19 百まいのドレス

エスティス作 石井桃子訳

岩波書店



ペギーとマデラインは、まずしく友だちのいない移民のワンドをよくからかいります。いつも同じ服のワンドが「百まいのドレスを持っている」と言うからです。ワンドに同情しながらもペギーに何も言えないマデラインは…。

20 ふたりのロッテ

ケストナー作 高橋健二訳

岩波書店



夏休みにキャンプで出会ったルイーゼとロッテ。ふたりは姿がそっくりなことにおどろき、別れた親にそれぞれ育てられたふたごなのだと気づきます。もう一人の親への会いたさから、ふたりはひみつの大計画を立てます。

【小学3年生くらいから】

21 ぼくは王さま

寺村輝夫作

理論社



たまごが大好きで、遊ぶことが大好きで、ときどきうそを言ってしまう王さま。王子さまが生まれたお祝いに、国じゅうの人を集めてぞうのたまごのたまごやきをごちそうしたいと言い出した。さてさて…。

22 ポリーとはらぺこオオカミ

ストー作 掛川恭子訳

岩波書店



かしこい女の子ポリーとおばかさんのオオカミ。オオカミは赤ずきんや三びきの子ブタ、七ひきの子ヤギなどの昔話のまねをして、ポリーを食べようとしますが…。

【小学3年生くらいから】

23 町にきたドラゴンたち

マクネイル作 松野正子訳

岩波書店



ドラゴンたちの住んでいる土地に、人間たちがやってきた。おたがいにじやませずすごしていたが、お祭りの夜にドラゴンが子どもたちの公園で遊び、おおきわぎになってしまふ。ふしぎなおはなし3話。

24 ミリー・モリー・マンデーのおはなし

ブリスリー作 上條由美子訳

福音館書店



ミリー・モリー・マンデーは小さな女の子、6人の家族といっしょに住んでいる。ある日、家族から一つずつおつかいをたのまれ、ぜんぶおぼえてみんなの役に立ち感心される。^{あいじょう}愛情あふれる楽しいお話がいっぱい。

【小学3年生くらいから】

25 木馬のひみつ

ゴッデン作 猪熊葉子訳

大日本図書

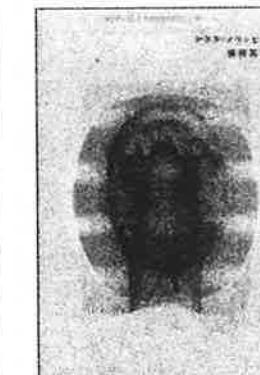


ティビーは、おやしきの主人ポメロイ様から古い木馬をもらう約束をしました。しかしポメロイ様がなくなると、親せきたちが来て勝手におやしきのすべてを売りに出してしまいます。ところが木馬には、ひみつがかくされていました。

26 モグラ物語

メランビー作 藤原英司訳

佑学社



モグラがどのように巣を作りトンネルをほるか、えさを食べるか、どのようにパートナーを見つけるか、子育てをするか。タルバという1匹きのモグラの一生がていねいに語られます。

【小学3年生くらいから】

27 やかまし村の子どもたち <シリーズ>

リンドグレーン作 大塚勇三訳

岩波書店



スウェーデンのいなかにあるやかまし村には、家がたったの3軒。子どもは6人しかいません。でもやかまし村の子どもたちには、いつだって楽しいことばかりです。さあ、あなたもちょっとやかまし村をのぞいてみましょう。

28 山のクリスマス

ペーメルマンス文・絵 光吉夏弥訳・編

岩波書店



ハンシはクリスマス休みに、チロルの山のおじさんの家に、ひとりでとまりに行きます。そこには、いとこの女の子や犬もいました。スキーやシカのえさやりなど、町そだちのハンシにはめずらしいことがいっぱいです。

【小学3年生くらいから】

29 雪わたり

宮沢賢治著 堀内誠一画

福音館書店



つもった雪がすっかり固くこおった日。一面キラキラかがやく野原に、四郎とかん子がキックキックトントンと雪をふみしめながら出てきました。二人は森の近くでこぎつねの紺三郎と出会い、月夜の幻燈会にさそわれます。

30 よあけ

シュルヴィッツ作・画 瀬田貞二訳

福音館書店



月が照らす山の中の湖。やがてそよ風がふき、小鳥が鳴きはじめます。野宿していたおじいさんとまごは、小さなボートで湖にこぎ出します。

【小学3年生くらいから】

31 ルーシーのぼうけん

ストーア作 山本まつよ訳

子ども文庫の会



ルーシーは、女の子の物より男の子の洋服や遊びがお気に入り。男の子たちに「どろぼうをつかまえたら仲間にしてやる」と言われ、探偵になる決心をする。ある日、ほんもののどろぼうを目撃したルーシーは…。

32 ルドルフとイッパイアッテナ

齊藤洋作

講談社



見知らぬ土地に来た小さな黒ねこルドルフは、文字が読めるトラねこイッパイアッテナと出会う。きびしいけれど楽しいノラねこ生活を送る中で、生きていくための知恵や「キョウヨウ」を身につけていく。

【小学3年生くらいから】

..... 「岩波おはなしの本」全11巻 岩波書店

～世界各国のたのしい昔話のシリーズです～



『かぎのない箱』 (フィンランド)

『千びきのうさぎと牧童』 (ポーランド)

『ポルコさまちえばなし』 (スペイン)

『ものいうなべ』 (デンマーク)

『りこうなおきさき』 (ルーマニア)

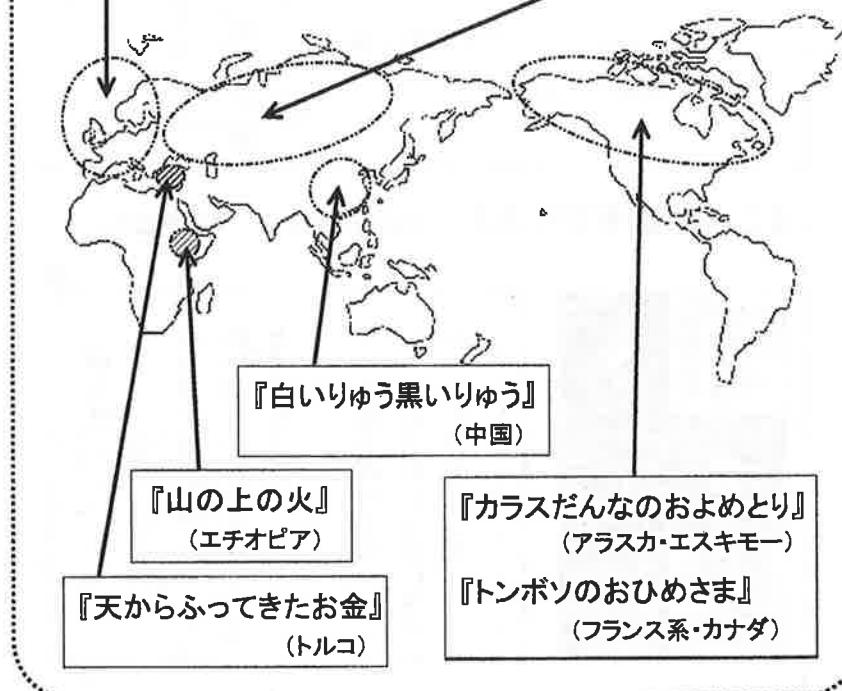
『まほうの馬』 (ロシア)

『白いりゅう黒いりゅう』 (中国)

『山の上の火』
(エチオピア)

『天からふってきたお金』
(トルコ)

『カラスだんなのおよめとり』
(アラスカ・エスキモー)
『トンボソのおひめさま』
(フランス系・カナダ)



詩の本

声に出して 読んでみましょう。

家族やお友だちといっしょに楽しんで！

『おーいぽぽんた 声で読む日本の詩歌166』

茨木のり子ほか編 福音館書店

昔から現代までの日本の詩や短歌・俳句が166編のっています。

好きな詩から、読みやすい詩から、くりかえし口ずさんでみましょう。

意味を知りたい人には、別冊『俳句・短歌鑑賞』があります。

佐渡によこたふ
荒海や
松尾芭蕉
天河
まつおばしよあまのがわ

『ことばあそびうた』 谷川俊太郎詩 福音館書店



かつぱかつぱかつた
かつぱなつぱかつた
かつぱなつぱいつぱかつた
かつてきつてくつた
かつぱかつぱらつた
かつぱらつぱかつぱらつた
とつてちつてた
かつぱ

『しゃべる詩あそぶ詩きこえる詩』

『みえる詩あそぶ詩きこえる詩』

はせみつこ編
富山房



ことばはつなぐ
とおくとちかく
ばらとみづばち
だれかとだれか
いまとむかし
すきときらい
きみとわたし
～あとがきより～

『のはらうた』I ~ くどうなおことのはらみんな作 童話屋

かまきりりゅうじ、こねずみしゅん、たんぽぽはるか、かぜみつるなど、“のはらむら”的みんなが作った詩がのっています。

『マザー・グースのうた』1~5

谷川俊太郎訳 堀内誠一画 草思社



イギリスで歌いつがれてきたわらべ歌集。
「ハンプティ・ダンプティ へいにすわった」
などおなじみのものや、教訓的なもの、物語性豊かなもの377編。さし絵とともに楽しめます。

【小学5年生くらいから】

33 アジアの昔話 1~6

ユネスコ・アジア文化センター編 松岡享子訳

福音館書店



日本、ラオス、タイ、ベトナム、韓国など18か国48のお話。その国の生活や考え方方がよく表されています。

めずらしい民族衣装や風物がよくわかる美しいさし絵を、その国の画家が描きました。

34 アナグマと暮らした少年

エッカート作 中村妙子訳

岩波書店



6才のベンは人より動物が好き。ある日、草原で迷子になり、どうもうなアナグマと出会う。けれども幸運にもアナグマはベンを傷つけずにわが子のように守り、おたがい助け合いながら暮らし始める。

【小学5年生くらいから】

35 アメリカのむかし話

渡辺茂男編・訳

偕成社



先住民族の伝説、ヨーロッパからの移民が伝えた話、黒人の民話など、どれもアメリカらしい、でも異なる味わいのお話が、1冊の中につまっています。

読んでもらうと、もっと楽しめます。

36 石の花

バジョーフ作 島原落穂訳

童心社



みなしこのダニールシコは、親方にみこまれて孔雀石の石工として腕をあげていく。やがて彼は石の美しさを求めるあまり、山の主が持つと伝わる美しい「石の花」を探しにいくのだが…。ロシア・ウラル地方を舞台にした5つの物語集。

【小学5年生くらいから】

37 エーミールと探偵たち

ケストナー作 高橋健二訳

岩波書店



エーミールはおばあさんを訪ねる一人旅の車中で、あやしい紳士にお金をぬすまれてしまう。

エーミールが町で出会った少年たちもいっしょになって、みんなで知恵をしづり犯人を追いつめる。

38 大どろぼうホッセンプロツツ <シリーズ>

プロイスター作 中村浩三訳

偕成社



黒ひげもじやもじや、かぎつ鼻、腰に短刀、手にピストルの大どろぼうをつかまえようと、カスパール少年と親友のゼッペルが知恵をしづって追跡する。

森のかくれ家、魔法使い、妖精と不思議なものが次々現れる。

【小学5年生くらいから】

39 お父さんのラッパばなし

瀬田貞二作

福音館書店



ハワイで沈没したところをイルカに助けられた話、くじらの骨とさめの皮で作った船で競争する話など、お父さんが世界の町で体験したというゆかいなほら話。

40 お話を運んだ馬

シンガー作 工藤幸雄訳

岩波書店



両親からたくさんのお話を聞いて育ったナフタリは、大人になると愛馬スウスに本をのせて売り歩く本屋になり、子どもたちにお話を届ける。

まぬけでこつけいな話、ユダヤに伝わる妖精物語、自伝的な作品など8編。

【小学5年生くらいから】

41 かおるのひみつ

征矢清作



あかね書房

かおるは4年生。校内作文コンクールで、クラスで目立つことのない黒崎さんが1等賞をとりました。

ところが、その作文が本当のことではないといううわさが流れます。真実を知ってしまったかおるは、どうしたら良いかなやみます。

42 風にのってきたメアリー・ポピンズ

トラヴァース作 林容吉訳

岩波書店



東風のふく日、こうもり傘につかまって空からバンクス家にやってきたメアリー・ポピンズ。子どもたちのしつけに厳しくぶっきらぼうな人だけど、子どもたちは彼女が大好き。なぜって、いつだって不思議な世界に連れて行ってくれるからです！

【小学5年生くらいから】

43 がんばれヘンリーくん <シリーズ>

クリアリー作 松岡享子訳

学研教育出版



ヘンリーくんはある日、町であばら骨がすけてみえる1匹の犬と出会う。

「アバラー」と名づけて家に連れて帰ろうとするが、犬はバスに乗せられない！

絶対連れて帰りたいヘンリーくん。さて、どうする？

44 くまのパディントン <シリーズ>

ボンド作 松岡享子訳

福音館書店



ブラウン夫婦が、駅で帽子をかぶったクマに出会い、いっしょに暮らすことになりました。

名前は出会った駅名からとてパディントン！れいぎ正しいクマでみんなから愛されているけれど、なぜかいつもトラブル続き。

【小学5年生くらいから】

45 くらやみ城の冒険 <シリーズ>

シャープ作 渡辺茂男訳

岩波書店



どこの国どの監獄にも、ねずみたちがつくる囚人友の会がある。

会から選び出されたバーナード、優雅な白ねずみミス・ビアンカ、ノルウェーねずみのニルスは、罪のない詩人を救い出すため、しおり込むも困難な監獄・くらやみ城へ向かう。

46 クローディアの秘密

カニグズバーグ作 松永ふみ子訳

岩波書店



11才のクローディアが弟をさそいこんで家出した行先は、ニューヨークのメトロポリタン美術館。そこで寝泊りするうちに、二人はミケランジェロ作かと注目される天使の彫像の秘密に気づき、その謎を解こうとします。

【小学5年生くらいから】

47 元気なモファットきょうだい

エスティス作 渡辺茂男訳

岩波書店



モファット家の4人兄弟が住む黄色い家に、ある日「売り家」と書かれた札がはられました。思い出いっぱいの家が誰かに売られるなんて！子どもたちは、いつ買い手がやってくるのか気になりながらも、明るく元気です。

48 子どもに語るグリムの昔話 1~6

佐々梨代子・野村法訳

こぐま社



単純で素朴、けれど生きる力がわいてくるグリムの昔話。赤ずきん、おおかみと七ひきの子やぎ、白雪ひめなど有名なお話や読みごたえのあるお話が、64編入っています。

【小学5年生くらいから】

49 しづくの首飾り

エイキン作 猪熊葉子訳

岩波書店



ローラは、名づけ親の北風から誕生日のお祝いにしづくの首飾りをもらう。そのしづくは北風によって毎年ひとつずつ増えて、ローラは雨を降らしたり止めたりできる力をさずかる。この他にも不思議なお話が7つ。

50 シャーロットのおくりもの

ホワイト作 さくまゆみこ訳

あすなろ書房



子ブタのウィルバーはある日、自分が冬になるとハムにされる運命と知る。クモのシャーロットが、ウィルバーの命を助けるために作戦を考え出した。そしてその結末とは？

子ブタとクモの不思議な友情の物語。

【小学5年生くらいから】

51 砂の妖精

ネズビット作 石井桃子訳

福音館書店



じゅり 砂利の中に住む奇妙な妖精サミアドを見つけた5人の兄妹。1日にひとつねがの願いごとをかなえてくれるサミアドに「金貨がほしい」「つばさがほしい」などの願いをかなえてもらいます。でも、日がしづむと魔法が消えてとんでもないことに！

52 せいめいのれきし

バートン文・絵 いしいももこ訳

岩波書店



考えられないほど大昔、宇宙の中に太陽が生まれ、わたしたちの地球も生まれた。その地球上に大地や海ができ、やがて生きものが誕生する。人間の時代になるまでの、何億年もの長い長い生命の発展の歴史を見てみよう！

【小学5年生くらいから】

53 セロひきのゴーシュ

宮沢賢治作 茂田井武画

福音館書店



ゴーシュは楽団でセロを弾いているが、あまりにも下手なため楽長に怒られてばかり。そんなゴーシュのもとに、三毛猫やカッコウ、たぬきなど、いろいろな動物が夜ごと訪れ、理由をつけては演奏を依頼する。

54 台所のマリアさま

ゴッデン作 猪熊葉子訳

評論社



お手伝いのマルタの祖国では、刺繡や琥珀などで飾られた聖母の絵が、台所でみんなを見守っていた。ここにはないと悲しむマルタに、グレゴリーはその絵を贈りたいと思う。苦労して手作りするうちに、それまで閉ざされていた彼の心は開かれていく。

【小学5年生くらいから】

55 太陽の戦士

サトクリフ作 猪熊葉子訳

岩波書店



紀元前900年頃のイギリスの物語。かたうで片腕のきかない少年ドレムは、部族の戦士を目指している。しかし、成人への儀式であるオオカミ狩りに失敗し、部族を追われる。ドレムは果たしてこの先、戦士になれるのか。

56 宝島

スティーブンソン作 坂井晴彦訳

福音館書店



あやしげな老水夫が、宝のありかをしる印した地図を残して父の宿で死んだ。少年ジムは宝探しの航海に加わるが、待っていたのは海の厳しいおきてや、コックとして乗り込んだ一本足の海賊シルバーの陰謀だった。

【小学5年生くらいから】

57 たのしい川べー 一ヒキガエルの冒険ー

グレーアム作 石井桃子訳



岩波書店

静かな川べで素朴な暮らしを楽しむ、内気なモグラ、詩人のネズミ、頭のよいアナグマ、みえっぱりなヒキガエル…みんなが友だち。自然豊かな田園で、さまざまな出来事が起こります。

58 たのしいムーミン一家 <シリーズ>

ヤンソン作 山室静訳

講談社



長い冬眠から目をさましたムーミントロール。友だちのスナフキン、スニフと“おさびし山”で黒い帽子を見つけます。これは魔法の帽子でした。その帽子をムーミントロールがかぶってしまいます。

【小学5年生くらいから】

59 だれも知らない小さな国

佐藤さとる作

講談社



小学3年生だった「ぼく」がもちの木を探しに行った時、小山や杉林に囲まれた三角形の平地を見つけた。ぼくは、不思議な感じのするこの場所に何度も通い、ある時、偶然出会った女の子が川に流した赤いくつの中に小人を見つけた。

60 月からきたトウヤーヤ

肖甘牛作 君島久子訳

岩波書店



山里のおばあさんは男の子を授かり、トウヤーヤと名づけます。トウヤーヤは、おばあさんの目や病気の人を治すという金の鳥を探す旅に出て、鳥も花嫁も手に入れますが、悪い王様につかまってしまいます。歌やなぞなぞも楽しい中国チワン族の物語。

【小学5年生くらいから】

61 年とったばあやのお話かご

ファージョン作 石井桃子訳

岩波書店



ばあやは毎晩くつ下をつくろいながら、子どもたちにおはなしをしてくれます。金の足を贈られた美しい姫の話、かんしゃくもちの王子が心臓をとりだした話など12話。

62 とびきりすてきなクリスマス

キングマン作 山内玲子訳

岩波書店



10人兄弟の5番目エルッキは10才。クリスマスを楽しみにしています。ところが兄が海で遭難し、家の中は火が消えたようになります。エルッキは、兄の代わりに家族一人一人への贈り物をひそかに手作りします。

【小学5年生くらいから】

63 とぶ船

H. ルイス作 石井桃子訳

岩波書店



ピーターはうす暗い小さな店で、古い小さなおもちゃの木の船を買う。それは持ち主を乗せるほど大きくなり、空間も時間も飛びこえて、行きたい所に連れていってくれる魔法の船だった。

64 トム・ソーサーの冒険 上・下

トウェイン作 石井桃子訳

岩波書店



トムは、いたずらっ子だが正直で心やさしい少年だ。姉さんや弟、ポリーおばさんはいつもトムのいたずらに巻き込まれてしまうが、トムのことが大好きだ。トムは宿なしハックと冒険を重ねる中で、町の事件を解決する。

【小学5年生くらいから】

65 ドリトル先生アフリカゆき <シリーズ>

ロフティング作 井伏鱒二訳

岩波書店



イギリスのいなか町のお医者さんドリトル先生は、オウムに動物語を習って動物を診察するようになる。ある年、アフリカのサル達が疫病^{えきびょう}に苦しんでいると聞き、動物たちを連れて船でアフリカに向かう。

66 人形の家

ゴッデン作 瀬田貞二訳

岩波書店



子ども部屋で、家族の人形と暮らすオランダ人形トチー。トチーはとても古い人形で、展覧会に出品されます。そこで昔、同じ人形の家に住んでいたうぬぼれやの美しい人形、マーチペーンと再会します。

【小学5年生くらいから】

67 ネギをうえた人

金素雲編

岩波書店



人間と牛の見分けがつかないで互い^{たが}を食べあっていた昔、ネギを食べればまちがわなくなると知ってネギをうえた人の話。ほかにトラに追われた3人の娘^{むすめ}が神様に助けられ、日・月・星になった「金のなべのつるべ」など33話。

68 ハイジ

シュピーリ作 矢川澄子訳

福音館書店



山小屋で暮らすおじいさんのところにやってきたハイジ。アルプスの雄大^{ゆうだい}な自然の中で、貧しいけれど素朴^{まづ}な人々にふれ、心を育^{はぐく}みます。やがてハイジのまっすぐな心が、孤独^{こどく}や悲しみの中にある人々の心を救^{すく}っていきます。

【小学5年生くらいから】

69 秘密の花園

バーネット作 猪熊葉子訳



福音館書店

孤児になったメリーがひきとられたイギリスのおじさんの大屋敷には、だれも入ることのできない庭園があった。

そして、ある日メリーは、どこかの部屋でだれかが激しく泣いている声を聞きつける。

70 ふくろ小路一番地

ガーネット作 石井桃子訳



岩波書店

イギリスの下町のふくろ小路に住む子だくさんのラッグルズ一家は、貧しいながらもにぎやかに暮らしています。子どもたちは、お手伝いのつもりの大失敗や、仲間と競争するために大胆な冒險をするなど、泣いたり笑ったりの毎日です。

【小学5年生くらいから】

71 ふしぎの国のアリス

キャロル作 生野幸吉訳



福音館書店

アリスは、チョッキを着たウサギを追いかけて大きなウサギ穴に飛びこむ。そこは、不思議で何とも奇妙な所だった。なみだの池、変な帽子屋、にやにや笑うネコ、トランプの女王など、次々に変わったものたちが現れる。

72 ふたりの星

ローリー作 掛川恭子・卜部千恵子訳



童話館出版

第二次世界大戦下のデンマークで、ユダヤ人への迫害が始まった。アネマリーの家に、親友のユダヤ人エレンがあずけられる。そこへドイツ兵がふみ込んできた。

アネマリーはエレンの命を助けるために勇気をふるい起こします。

【小学5年生くらいから】

73 ベーグル・チームの作戦

カニグズバーグ作 松永ふみ子訳

岩波書店



マークの入っている野球チームの監督に、ママがなってしまった。大はりきりのママのおかげで家の中はいごこちが悪くなり、友だちとの関係にも悩む。ママは優勝作戦を開始し、チームと共にマークも成長していく。

74 ぼくとくらしたフクロウたち

モワット作 稲垣明子訳

評論社



ぼくはある日草原で、大風で落ちたミミズクのひなを見つける。クフロと名づけ、手に入れたもう1匹のメソといっしょに育て始める。

大胆なクフロと臆病なメソは日々おかしな事件をまき起こす。

【小学5年生くらいから】

75 ぼくのお姉さん

丘修三著

偕成社

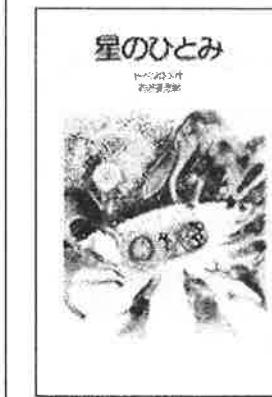


ぼくのお姉ちゃんは、17才なのに満足にひらがなも読めないし、どこをとっても自慢できることなんかない。そのお姉ちゃんが初めてのお給料で家族にごちそうしてくれた…。
障がいのある子どもにまつわるお話が6話。

76 星のひとみ

トベリウス作 万沢まき訳

岩波書店



かがや
オーロラ 輝く雪原で、そりから落ちたあかんぼが静かに空を見ていました。その瞳に星の光が宿ります。星のひとみと呼ばれるようになったその子には、不思議な力がありました。
ほくおう きよじん こびと
北欧の神さまや巨人や小人たちがでてくる短編集。

【小学5年生くらいから】

77 魔法使いのチョコレート・ケーキ

マーヒー作 石井桃子訳



福音館書店

魔法は下手だが、とてもおいしいチョコレートケーキを作る魔法使いは、ある日パーティーに町中の子どもを招待する。しかしだれもやって来ないので、リンゴの木を相手にお茶することに。不思議の世界に招かれる8つの短編集。

78 名探偵カッレくん

リンドグレーン作 尾崎義訳



岩波書店

名探偵のつもりでいるカッレくんは、ある日友だちのロッタのおじさんに会う。おじさんの行動が怪しいとらみ、尾行するうち本物の事件にまきこまれていく。そして、大人顔負けの推理で犯人を追いこむ。

【小学5年生くらいから】

79 ゆかいなホーマーくん

マックロスキー作 石井桃子訳

岩波書店



アメリカの小さな町にすむホーマーくん。ペットのスカンクと強盗をつかまえたり、店で留守番中、自動ドーナツ機が故障して店中ドーナツだらけになったり。音楽式ネズミとりや糸くずボール対決など、おかしな事件がたくさん！

80 床下の小人たち

ノートン作 林容吉訳

岩波書店



古い家の床下で、人間の物を人知れず借りて暮らす小人一家。娘のアリエッティは外の広い世界に強くあこがれています。初めて“借りもの”に出かけた日、アリエッティは小人の鉄則をやぶり、人間の男の子と話をしてしまいます。

【小学5年生くらいから】

81 ヨーンじいちゃん

ヘルトリング作 上田真而子訳

偕成社



ヤーコブたちと暮らすためにヨーン
じいちゃんがやってきた。じいちゃん
は頑固だけれど、おかしくて、まっすぐで、あたたかい。みんな、じいちゃんが大好きだ。

ずっといっしょにいられると思って
いたのに…。

82 ライオンと魔女 ナルニア国ものがたり<シリーズ>

C. S. ルイス作 瀬田貞二訳

岩波書店



いなかやしきの古い屋敷にやってきた4人兄妹は、一室にあった大きなタンスから別の世界に入ってしまう。そこは、もの言ひものや不思議な妖精たちの住むナルニア国だった。

ナルニア国の壮大な歴史物語の第1巻。

【小学5年生くらいから】

83 六月のゆり

スマッカー作 いしいみつる訳

ぬぷん児童図書出版



どれいせいいどか
奴隸制度下のアメリカ。13才の黒人の少女ジュリリーとライザは、ミシシッピの農園から、北極星をたよりに2000キロ先のカナダへと逃亡する。飢えと寒さ、追手の恐怖の中でも、二人は希望を持って進んでいく。

84 わたしたちの島で

リンドグレーン作 尾崎義訳

岩波書店



メルケルソン一家の父と4人の子どもたちは、バルト海に浮かぶウミガラス島へ避暑にやってきました。子どもたちは海辺の遊びや動物に大はしゃぎ。島の元気な女の子チョルベンとその忠実な犬ともすぐに仲良くなります。

【小学5年生くらいから】

85 大きな森の小さな家

ワイルダー作 恩地三保子訳



福音館書店

北アメリカの大きな森の丸太小屋にローラはとうさん、かあさん、姉のメアリイ、妹のキャリーと住んでいた。
好奇心いっぽいローラの目を通して、きびしい開拓生活の中での深い家族の愛と日々の喜びが、生き生きと語られる。

86 冒険者たち

斎藤惇夫作



岩波書店

ドブネズミのガンバは海を見に行こうと誘われ、港でたくさんのネズミたちと知り合う。そこで傷ついた島ネズミと出会い、彼の住んでいる島がイタチ一族に襲われていることを聞く。みんなに反対されながらもガンバは、島ネズミを助けに向かう。

このブックリストは、1986年に北本市子ども文庫連絡会が作成し、その後、北本市立中央図書館・北本子どもの本を楽しむ会・北本市立こども図書館が加わり選書・改訂を行っています。

発行

北本市立中央図書館

TEL:048-592-0795

北本市文化センター指定管理者

acTrC(アクトーグ) 北本ネットワーク

北本市立こども図書館

TEL:048-598-7642

北本市立こども図書館指定管理者

シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

北本市子ども文庫連絡会

北本子どもの本を楽しむ会